

高崎経済大学論集

第58巻 第1号

平成27年6月

目 次

〔論 文〕

「北陸トンネル」の列車火災発生時の避難行動に関する研究 久 宗 周 二 (1)
中 山 光 成

ドイツ民法典上の共働過失規定（§ 254）の歴史的考察
—— Nils Jansen教授の見解から—— 谷 口 聡 (13)

1920年恐慌前後における日本紙器製造の株主総会 (1)
—— 垂直統合戦略と資金調達をめぐって—— 加 藤 健 太 (29)

〔学会記事〕

高崎経済大学経済学会正会員活動報告 (43)

THE ECONOMIC JOURNAL
OF
TAKASAKI CITY UNIVERSITY OF ECONOMICS
Vol.58 No.1 June 2015

Contents

Articles

The study of evacuation of trains in case of fire
from Hokuriku-Tunnel accidents *Hisamune Shuji* (1)
Nakayama Kohsei

Historische Betrachtung der Besitmmung des Mitverschulden (§ 254 BGB)
—— Von der Ansicht von Professor Nils Jansen—— *Taniguchi Satoshi* (13)

Shareholder's Meeting of Nihon Package during the 1920 panic
—— Centering on Verticalization Strategy and Fund Raising—— *Kato Kenta* (29)

Editors' Report

Editors' Report (43)

本号執筆者（掲載順）

久宗周二	本学経済学部	教授
中山光成	本学大学院経済・経営研究科	博士後期課程
谷口聡	本学経済学部	教授
加藤健太	本学経済学部	准教授

本論文集に掲載の論文、研究ノート（書評、講演抄録、学会記事などをのぞく）については、第42巻第1号から当学会において審査（レフリー）を行っております。
本論文集に掲載されている著作物の著作権は、本学会に帰属します。